

# 課程の記録 日々往来

4月3日 新規履修者オリエンテーション

出席者は1・2年次生75名。

6～7月

「児童サービス論」読書プログラム実習



エプロンシアター「うさぎとかめ」

6月20日 「図書館概論」「学習指導と学校図書館」合同特別講義

大和大学保健医療学部総合リハビリテーション学科言語聴覚学専攻教授の藤澤和子先生より「LLブックについて-知的障害者の読書を支援する-」をテーマに講義をしていただいた。

8月～9月 図書館実習

「図書館実習」履修者4名がそれぞれ京都市中央図書館・大阪府立中央図書館・国立国会図書館関西館・国際子ども図書館で実習を行った。

9月11日 京都ライトハウス見学

夏期集中講義「図書館サービス特論」の授業で京都市北区にある京都ライトハウスの情報ステーションを訪問した。

11月16日 製本技術講習会

西宮市視覚障害者図書館司書の山田友香氏(本学卒業生)を講師に迎え、三つ目綴じ・くるみ製本(洋装本)四つ目綴じ(和装本)・帖装本(折本)の技術を習得した。学生サポートスタッフの助けを借りながら長時間集中して取り組んだ。



糸で和装本を綴じる(四つ目綴じ)

11月20日～12月10日

「情報サービス演習Ⅱ」図書館展示

「参考図書と出会う」

レファレンスサービス演習で出会った辞書・事典・図鑑・地図・書誌などの中で、1年次生に薦めたい参考図書を選び展示した。

1月16日 図書館実習成果発表会

編集後記

今年は、図書館実習を始めて5年目、今まででもっとも多い4人が実習に行きました。国立国会図書館(関西館・国際子ども図書館)、大阪府立図書館、京都市立図書館と実習館もさまざまで、それぞれの役割の違いから実習内容もさまざまでした。全館共通していたのがレファレンスサービス関連の実習、関西館を除く3館に共通していたのが子ども向けお話会の実習でした。今号では、国立国会図書館で実習した2名が報告を書いてくれましたので、お読みいただければ幸いです。(零)

今年度も早いもので終わりを迎えようとしています。今年も司書課程の学生が熱心に勉強しているのを見てきました。図書館司書の資格に関心を持って入学してくる学生も多くなっているようです。秋に開催される製本講習会でも、多くの学生が熱心に取り組むつも製本の作業を楽しんでいるようでした。図書館司書の資格に求められる知識、技能を身に付けてもらうことが司書課程の主な目的ですが、図書館司書の仕事以外にも、社会に出て役立つ様々なことを勉強してもらっていると思います。次年度も熱心な学生を迎えるのを楽しみにしています。(H)

今年度は司書課程科目を履修する1年次生が例年以上に多かったです。製本講習会も活気がありました。資格取得を目指す皆さんを微力ながらサポートできたら、と思っております。(あ)

巻頭言とp.7は内容に合わせてUDフォントで印刷されています。

UDフォント(ユニバーサルデザインフォント)…誰にとっても見やすく読みやすい誤読を防げるよう配慮・工夫した書体のこと

京都ノートルダム女子大学司書・司書教諭課程  
ニュースレター「本の扉」  
第15号 2020年3月31日

編集・発行 京都ノートルダム女子大学  
司書・司書教諭課程  
〒606-0847  
京都市左京区下鴨南野々神町1  
TEL (075)-781-1173(代)  
Mail lisc@notredame.ac.jp

印刷 和光印刷  
用紙 紀州色上質紙アイボリー厚口  
題字デザイン 松元めぐみ